

會員よりのたより

新 星 搜 し

発見前後 新星発見の詳しい事情と申しまして、別にないのであります、實は、平常から、新星なら私共にも発見の可能性があると思ひまして、天氣の限り、必ず空を眺めることにして居りました。當日（十一月11日）の朝も、快晴でしたので、ネマキの上にドテラをひつかけ、外に出ました。一渡り南の空を見渡しました時、新星に直ぐ氣付きました（午前5時5—12,13分頃）。尙、御参考の爲、近頃の觀測日誌を送りますから、御覽下さい。この日誌は今後も續けるつもりです。（17, 11, 17）

感想二つ三つ ○人生行路四十年、ことごとく失敗であり、失意の連続であつた。此今度はじめて豫定の如くいつたと思ふ。○此の度の事に關し最も残念に思ふことは九日十日の朝に起きなかつたことである。あの日、目は覺めた。晴といふこともわかつてゐたのに、つい大儀氣を起して、床に入つてしまつた。時々思ひ出しては、痛恨止み難いものがある。（八日は星を搜索したのだつた。）○自己の分野（活動の）を定め粘ること。（1942, 11, 19）

山本博士への返書 十年前に天文に興味を覺えました。どうしたことからか、思ひ出せません。然し、一度興味を覺えると、夫は急に發展して行きました。もう興味を覺え始めてから二三ヶ月もすると、それは一月の終りか、二月の始め頃であつたか、カノープスが見えやしないかと、日暮れに、すつとはなれた見晴らしのいい所まで出掛けたことを覚えてゐます。それから、一般の通俗書は大抵讀み、黒點や遊星、變星、火球、彗星のやうなものも、一通り見、特に變星は數年續きました。然し、變星觀測も自分に最適なものではないと感じ始めました。第一、肉體的にも、或は還境、器械等からも。それに、それぞれそれに適する人が大勢やつてゐる、といふことも、與つて力があつたと思ひます。何かやりたい。然し、それは自分の力の範圍内でなければならぬ。そういう情況の中にあつて、考へついたのが、新星搜しといふことであつたと思ひます。（一九四二、一二、一五）

長崎市 中原千秋

“24時制の時計面” あとがき

昨夏以來募集して來た24時制時計面の考案も本號表紙畫に發表のものを以て一應打ち切りとします。第1より第6までならべて見たところ、大して珍しい案

も見られないのは、現在の時計の機構や時制の性質上やむを得ぬこととも思はれます(本號の渦巻き型が奇抜といへば奇抜ですが)。同趣向のものは先着を發表しました。發表に洩れた主な方々の註記を下に抄記します。(編輯部)

平井利朗氏 (No. 5 のものと内外圓反對) 晝間は内圓、夜間は外圓に示すこと。夜間の部、即ち外圓は夜光塗料で書くのも面白い。6, 18時は内外どちらでもいいが、腕時計などでは秒針でかくれる。

大島幹造氏 (No. 5 と全く同じ) 6時と18時とを界とし、晝間は外側の文字を、夜間は内側の文字を読む。國民學校の初年級などによく判ると思ひます。内側と外側とは文字の色を變へれば一層よくわかる。

小林義恵氏 (No. 2 のものと内外圓反對) 特長 1, 在來の文字盤を變更することなく使用出来ること。2, 13時~0時の文字盤は赤字にて黒字と識別し得ること。3, 内側の文字盤は貼布し得ること。

三好敏實氏 (文字面を24等分する案) 文字盤は24にくぎる。音も12時から又音の變るやうにして1時となる。音に馴れば12時まででは輕音で、重音の3時なれば15時といふふうに。たゞ文字盤だけでは駄目だと思ひます。

山口支部より

拜啓(前略)本館に、昨年の日蝕前、漸く永年の希望が叶つて、小さいながら十纏の赤道儀(運轉時計つきの屈折機)を備へ付けることが出来ました。16年度に本館科學設備費の配當を受けましたにつき、第一番に宇宙科學の教育設備をと主張して、上司の諒解を得、カッチリ整頓したものを備へ付けたく、五藤さんに頼んで、漸く出来上り、爾後、利用致して居ります。過ぐる八月には本縣宇部市緑屋百貨店で、小規模ではありましたが、本館主催として、天文展覽會を開催し、頗る好評にて、多大の効果を挙げました。いゝ々々御高教を仰ぎたいこと數々ございますし、又、御報告も致さねばならぬと、かねがね思ひ居りますが、とかく御無沙汰がらの段、悪しからず御有恕下さいませ。本館の宇宙科學の教育設備といふやうなことにつき、何かの機會に御教示を仰ぎたく、切望致し居ります。(下略) 17, 11, 18 山口縣立博物館 惠 藤 一 郎

故中村 要氏著(木邊成麿氏補訂)

反射望遠鏡 A5判 二百餘頁 定價3圓、送料20錢

鏡面の研磨法、試験法から使用法、觀測術まで

本會でもお取りつぎいたします。

東亞天文協會(振替:大阪56765)

天文年鑑 1943年用(本誌第23卷第1號)僅少殘部あり。1部送料共41錢、

南宋天文圖 出来。價格、大いさ共に天文寫眞第1輯に同じ。御申込あれ。

一枚送料共1圓40錢。